



地域協働学校（コミュニティ・スクール）

保護者・地域とともに 歴史を刻む LAST YEAR

共創

ふじみ野市立東台小学校
学校だより 第3号
令和6年5月31日

開校記念日に寄せて

6月17日は、東台小学校最後の開校記念日となります。開校前から建立に携わってくださった地域の皆様、日頃よりご協力くださる保護者の皆様に、深く感謝申し上げます。

東原小学校から分かれて開校し、平成21年4月22日には地域の方々を含めた90名強のご来賓の皆様をお招きし、盛大な記念式典が催されました。また、入学式の様子が新聞に大きく掲載されるなど、当時、県内でも話題となりました。

開校当初は、校歌や校章が決まっていなかったため、入学式に校歌や校旗はありませんでした。そこで、校歌や校章を定め、校旗を作ろうと初めて話し合いを行ったのが、6月17日。そして、この日を開校記念日としました。

では、東台小の校歌と校章は、どのように決まったのでしょうか。市報や学校だより、市のHPで募集したところ、全国から40近くのアイデアが寄せられ、10月1日の「校歌・校章選定委員会」で決まりました。11月11日には、体育館でお披露目の会を行いました。作曲者をお招きし、直伝の指導・指揮のもと400名を超える子どもたちが元気に校歌を披露したそうです。

校歌や校章の候補作品は、今も校長室に残されています。一つ一つの作品を手にとると、たくさんの人々が校歌や校章に思いを込め、東台小学校に夢と希望を託したことが伝わってきます。皆さんの先輩方が、どれだけその期待に応えてきたことでしょう。そして、地域の方々に、どれだけ温かく支えられてきたことでしょう。東台小最後の年に偶然巡り合った106名の仲間たちと一緒に過ごせることを誇りにしてほしいです。（以上、今月のお話朝会の概要の予定です。）

開校16年、保護者・地域の皆様と創ってきた温かい学校づくりも仕上げに入ります。先日の航空写真のデザイン募集や撮影など、統合への取組はまだまだ続きます。子どもたちだけでなく保護者、地域の皆様にとっても、楽しい一時となります様、今後もお来校をお待ちしております。



校舎建設の様子

大型車両がたくさん並んでいます。
地域の皆様にご協力いただきました。



開校当時の東台小

校庭の桜やハナミズキの木が大きく成長していることが分かります。



東台小の校章と最終候補に残ったデザイン

校章デザインの趣旨について（左上）

全体の形は、東台小のカタカナ文字「ヒ」をモチーフに「小」の文字を配し、子供たちの勉強・スポーツ・芸術・文化のあらゆる情報交流発信の役割を果たす飛鳥のイメージをデザイン化しました。親の温かい愛情に包まれ、心豊かな自然（緑・水）に抱かれた環境の中で、将来の夢や希望に向かってたくましく成長する児童と学校の姿を力強く表現しています。